

# 高校生のための哲学サマーキャンプ

高校時代は、誰もが人生でいちばん哲学に近づく時です。  
私ってなんで生きているんだろう？ 私っていったい何者？ なんてみんな分かり合えないの？  
どうやったらみんなと一緒に生きていけるんだろう？ 信じるってどういうこと？ 愛って何？

日々の生活の中でこんな問題にぶつかったことはありませんか。それが「哲学」だなんて、思わない人もいるでしょう。でも、こういう問いを発する人は、哲学の一步手前、もしくはすでに一步そこに足を踏み入れているんです。ここからちょっと考えてやめてしまう人もいれば、一人であれこれ思いを巡らせている人、実際に哲学書を手に取る人、いろいろでしょう。でも、こういうことって、友達どうしてもなかなか話せないのではありませんか。

このサマーキャンプは、そんな仲間が集まって共に考え、語り合う場です。しかも、そういう問いをずっと探求している哲学の先生や大学院生が「考える方法」と「語る方法」を教えてください。このキャンプを体験すれば、あなたはきっと自分の力で一步でも二歩でも先に進めるようになるでしょう。さあ、この夏、哲学に興味をもつ仲間たちといっしょに過ごしませんか。

この「高校生のための哲学サマーキャンプ」にはすべての高校生が応募できます。

## 1. 日時・会場 2015年7月31日(金)・8月1日(土)

1日目(宿泊) 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京・参宮橋)  
13時30分スタート

2日目: 東京大学駒場キャンパス(東京・駒場東大前)  
10時スタート、15時頃解散

## 2. プログラムの概要

- ・両日とも80分×2セッションで行います。
- ・どのセッションも東京大学の教員と大学院生がサポートします。
- ・ライティングやディスカッションを通して、思考する方法を学びます。
- ・哲学に関心をもつたくさんの仲間と出会い、共に考え、語り合います！

3. 参加費用 3000円(宿泊費・食費代として・当日持参願います)

4. 参加者 先着30名

5. 申込方法 ①氏名 ②住所と電話番号 ③E-mail address ④学校名と学年

レポート用紙1枚に上記を明記し、倫理や哲学に興味を持ったきっかけや今の関心事、哲学サマーキャンプに参加する意気込みなど書き添え応募して下さい。

6. 応募先 日本倫理哲学グランプリ・哲学サマーキャンプ係

(メール、郵送またはFAX)

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-3

TEL: 03-6380-9450/FAX: 03-3261-8747/メール: info@jep-gp.org

主催: 日本倫理哲学グランプリ事務局(公益財団法人上廣倫理財団内)

協力: 東京大学「共生のための国際哲学研究センター」(UTCP)

# 高校生のための哲学サマーキャンプ 2015

## 内容について

同年代の高校生たちと哲学的な問題について語り合うことも、先人の叡智と格闘しながら文章を書くことも、哲学を専門とする大学院生たちと本気で議論することも、きっと楽しいと思います。「哲学」というと難しく感じるかもしれませんが、特に予習などは必要ありませんし、丁寧に指導をしますので、リラックスして、それぞれのしかたで、哲学を楽しみに来てください。

キャンプの主な内容は、下記の通りです。

### 【1日目】

#### ★哲学対話★

古今東西の哲学者の文章を読んで、それについてみんなで問いを出し合い、対話をします。文章の意味を理解したり、解釈をするだけではなく、その文章の内容と関連した自分自身の問いについても、考え進めていきます。哲学的な考えの深め方を身につけることができます。

#### ★哲学エッセイの執筆★

哲学者の文章と、哲学対話の内容をもとにして、「哲学エッセイ」の書き方について学びます。みなさんが学校や塾で学んでいる「作文」や「小論文」の書き方とは、同じ部分と、まったく違う部分があります。自分の文章の書き方を見直しながら、新しい文章の書き方を学んでみましょう。今後、進学先や会社などでレポートを執筆するときにも、きっと役に立つと思います。

### 【2日目】

#### ★グループワーク★

1日目の哲学エッセイの執筆は、それぞれ個人で行いますが、2日目のグループワークでは、グループみんなで一つのエッセイの構成を考えてもらいます。みんなそれぞれ違う意見や考えをもっているのです、それを共有し比較検討しあいながら、考えていきます。1日目に学んだ2つの技法を両方駆使して行う、サマーキャンプの集大成となります。

#### ★プレゼンテーション★

グループワークの後に、それぞれのグループで考えたエッセイの構成を、参加者全員に対して発表していただきます。じっくり考えることだけに留まらず、考えたことをきちんと言葉にして伝え、互いに問いかけ、それに応える体験をしてください。

熱い2日間にしましょう！お楽しみに！！